

問 題	正 答	配 点	
1	(1) 3	各 2	12
	(2) 6		
	(3) $\frac{-7a+5b}{12}$		
	(4) $-\frac{6a^2}{b}$		
	(5) $8x-25$		
	(6) $5\sqrt{3}$		
2	(1) $5x+2y<40$	各 2	16
	(2) $x=1, y=-5$		
	(3) ウ		
	(4) $a=0, b=48$		
	(5) 28度		
	(6) $12\pi \text{ cm}^3$		
	(7) $\frac{5}{9}$		
	(8)		
3	(1) ウ	各 2	6
	(2) 0.2		
	(3) (例) 30分以上40分未満の階級は分布の谷にあたり、最も度数が小さい階級であるので、30分以上40分未満の時間帯に呼びかけをすることは適切でない。		
4	(1) ア $n+1$ イ $n+5$ ウ $n+6$	2	5
	(2) (例) 下2つの数の積から上2つの数の積をひいた差をnを用いて表すと $(n+5)(n+6)-n(n+1)$ $=n^2+11n+30-n^2-n$ $=10n+30$ $=10(n+3)$ nは整数なので、n+3も整数となり、10(n+3)は10の倍数である。したがって、下2つの数の積から上2つの数の積をひくと、その差は10の倍数になる。	3	
5	(1) (-3, 9)	各 2	6
	(2) 60		
	(3) $-2+2\sqrt{10}$		
6	(1) 【証明】(例) $\triangle CDG$ と $\triangle ECH$ において 四角形ABCDと四角形FGCEは合同な長方形であるから $CD=CE$① $CE//GF$ より、錯角は等しいから $\angle CDG=\angle ECH$② また、四角形ABCDと四角形FGCEは長方形であるから $\angle CGD=\angle CHE=90^\circ$③ ①、②、③より 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。 したがって $\triangle CDG \cong \triangle ECH$	3	5
	(2) $\frac{22}{5} \text{ cm}$	2	